

茅ヶ崎名所

保存池が整備された当地は絵はがきなどで
たびたび紹介しょうかいされてきました。

脚橋川模相舊〔所名崎茅〕
(ノモルセ出突ニ田水テリ因ニ災震大テシニ設建ノ代時倉録)



(行發館眞宮井大)



南側の杭列 保存池南西部

長さ1.2m以上の杭を打ち込み、幅8cmの板を3、4段積み上げています。堤の高さと幅ははっきりしませんでした。



杭につながった針金 保存池北西部

土の重みに耐えられるように、盛土の下に打った補助杭と針金で結ばれた杭が何本か確認できました。

古い説明看板 倒れて、池の底に沈んでいたものが発見されました。

《読み下し》

史蹟舊相模川橋柱

今ヨリ七百四十余年前建久年間源頼朝ガ臣稲毛三郎重成ガ始メテ舊相模川ニ架セシ橋柱ニシテ***百星霜河身ノ変動ニ従ヒ埋設シテ世ニ知ラレザリシガ偶々大正十二年九月関東大地震ノ為メ出現セシモノニシテ我が国最古ノ橋柱ナリ

昭和十六年三月

茅ヶ崎町役場

